

ちびっこ チャンピオン

「僕・私の将来の夢」

みよし保育園のなかよしたち

(左から)

したや とうじくん (5さい)
かねひら このはさん (5さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは誕生日を迎えたちびっこ達をご紹介します



西崎 ほのかちゃん
(創作) R2/11/3生
「虫や踊りが大好き◎
元気に育ってね!」

草創教育長の

「今月の一枚」

読書の効果 (その二)

- ⑤ 未知の世界へ誘ってくれる
本に刺激されて、ふらりと一人旅に出たくなった。山歩きを始めたくなった。料理教室に通いたい。油絵を習おう!...
- 大人の私たちでも、読書がきっかけで新しいことを始めてみたくなるものです。まして、子どものあこがれの強さは大人以上です。読書は、まさに未知の世界への「とびら」なのです。
- ⑥ ひとりひたる時間を与えてくれる
子どもの成長には、仲間と関わり合うことが欠かせません。でも、一人になり自分と静かに向き合う時間も、時には必要です。読書にひたり、登場人物の生き方に思いを巡らしたり、先人からの選り抜かれた言葉を味わいかみしめたりする時間。この時間は、子どもの自己形成に大きな影響を与えてくれるはずです。
- ⑦ 自分の幅を広げてくれる
しきたりや前例にこだわるがんこ者。御身大切で他の考えを受け入れないジコチュー。妄想の世界に迷いこみ、後ずさりしたくなる



ような人…。身近にそんな人はいませんか? 人間一人ひとりの価値観など、非常にせまいものです。人生の先輩やその道の達人、すぐれた著名人などの考えは、一歩高い価値観を自分の中に住ませ、自分の幅を広げてくれます。



⑧ つらい経験をのりこえる
けがや病気、身近な人の死、争いごと、いじめ……。誰もが、つらい経験や悩みを持って生きています。自分以上のつらい経験を讀むことで、落ち着いて自分を見つめ直す機会を持つこともできます。苦しさをのりこえてひたむきに生きる登場人物の姿に触れると、生きる希望もわいてきます。
自分の不幸に心を奪われもう一步を踏み出せない、自分を悲劇の殻に封じこめて人を信じない、そんな狭さを打ち破る強さを読書は持っています。

以上、二回にわたって「読書の効果」を述べました。辺境の地にあっても、いやいやだからこそ、読書は子どもたちにとって、自分を高め広げる「最強の武器」だと信じます。

※ 参考：齋藤孝「読書力」(教育長 草創 文)